

令和8年度 国語科 第3学年

育成する資質・能力

- (1)社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- (2)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3)言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

| 学期 | 学 習 到 達 目 標 |
|-------------|---|
| 1 学 期 | <p>詩 春に ・表現を味わい、描かれた「気もち」を捉えることができる。</p> <p>随筆 立ってくる春 ・随筆という文章の種類とその特徴について理解を深め、筆者の個性的な考えを捉えることができる。</p> <p>随筆 なぜ物語が必要なのか ・「物語」の役割について筆者の考えを捉え、自分の知識や経験と結びつけて読むことができる。</p> <p>小説 私 ・文章を吟味して読み、文章に表れているものの見方や考え方について批評することができる。 ・作品を読み、考えを広げたり深めたりして、人間や社会などについて自分の意見をもつことができる。</p> <p>書写 硬筆 ・行書と仮名を調和させて書くことができる。</p> |
| 2 学 期 | <p>論説 AIは哲学できるか ・文章を批判的に読みながら、筆者の主張を捉えることができる。</p> <p>古文 旅への思い―芭蕉と『おくのほそ道』 ・歴史的背景や文章の特徴を理解し、古典に深く親しむことができる。 ・各場面から情景や芭蕉の心情を捉えることができる。</p> <p>古文 和歌の調べ―万葉集・古今和歌集・新古今和歌集 ・それぞれの和歌集について特徴や文学的価値について知るとともに、歌のリズムを味わう。</p> <p>漢文 風景と心情―漢詩を味わう ・歴史的背景を踏まえて情景や心情を捉えることができる。 ・漢詩の形式や表現の工夫などを理解して作品の響きを味わうことができる。</p> <p>文法 助詞のはたらき ・助詞の種類とはたらきを捉え、日常生活で正しく使えるようにする。</p> <p>論説 async―同期しないこと/問いかける言葉 ・筆者の主張とその根拠に着目しながら読むことができる。 ・文章の構成や展開、表現の仕方を図式化しながら整理することができる。 ・文章を読み比べ、評価しながら読むことができる。</p> <p>書写 書きぞめ ・行書の特徴を理解し、字形を整え、文字の大きさ、配列、配置を意識して書くことができる。</p> |
| 3 学 期 | <p>俳句 俳句の味わい ・表現技法を理解し、情景や心情を読み取ることができる。 ・印象に残った句を選び、声に出して読むことができる。</p> <p>詩 初恋 ・文語定型詩の響きに親しみ、リズムを味わいながら音読することができる。</p> <p>文法 助動詞のはたらき ・助動詞の種類と働きをとらえ、日常生活で正しく使えるようにする。</p> <p>小説 故郷 ・過去と現在における「私」と「閨土」の心情を捉えることができる。 ・時代背景を抑え、『故郷』に描かれた作者の思いを知る。 ・「希望」について考え、人間、社会などについて、自分の意見をもつことができる。</p> |